

健康と光線

新型コロナウイルス感染症

(COVID-19)

「私たちができること」

医学博士 宇都宮 正範

はじめに

平素よりサナモアをご愛顧頂き、誠にありがとうございます。ご存じのように、今や日本を含む世界は、歯止めのかからない新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に翻弄され、3月11日には世界保健機関(WHO)が、「パンデミック(感染症の世界的な大流行)とみなすことができる」と表明しました。数か月前の平和が嘘のようで、昨年12月8日に武漢市で初めて新型コロナウイルスによる肺炎

患者を中国政府が確認してから、わずか三か月という短期間で100か国・地域以上に感染は拡がり、患者数は10万人を超えたのです。昔であれば、武漢の風土病とされ症例報告されたと思われる疾患が、グローバル化された現代社会においては、このような驚くべきスピードで世界的な大流行となってしまう、まさに驚くべき現実です。1980年に公開された小松左京原作の角川映画「復活の日」を思い出したのは私だけではないでしょう。

発行所
光線療法
普及協会

(年2回発行)

〒153-0063
東京都目黒区目黒
1-23-11

電話 (03)
5759-6333

細菌とウイルスの違い

感染症ということで、細菌とウイルスはよく比較されますが、両者は全く異なる構造をもち、細菌が生物であることにに対し、ウイルスは生物と言いつれれないことが決定的な違いになります。

ウイルスの特徴

- 細胞がない。
- 栄養摂取しエネルギーを生産しない。
- 自力で動くことはできない。
- ウイルス単体では自力で増殖できない。

このような特徴をもつウイルスは、他生物の細胞を利用して自己複製するしかなく、タンパク質でできたカプシドという殻のなかに遺伝子情報となる核酸

が収められているだけの単純な構造体で、非常に小さく、電子顕微鏡で観察するしかありません。

治療面においても両者には差があり、細菌に対する治療薬として様々な抗生物質が開発された現代においても、抗ウイルス薬の開発は遅れをとり、インフルエンザを含むウイルス対策として、長らくワクチン接種のみが行われてきたのです。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の特徴

元々のコロナウイルスは、動物や人の間で広く感染症を引き起こすウイルスで、人に感染症を起こすウイルスとして、6種類が知られていましたが、深刻な呼吸器疾患を引き起こす重症急性呼吸器症候群(SARS)と中東呼吸器症候群(MERS)以外は、感染しても通常の風邪症状で終わり、一般的には重症化しませんでした。

以下に、これまで明らかとされた新型コロナウイルス感染症

(COVID-19)の特徴について、厚生労働省の見解等を基にまとめます。

◆感染経路は、インフルエンザ等と同様、飛沫感染と接触感染が主とされていますが、エアロゾル感染の可能性も示唆されています。とくに換気の悪い閉鎖空間に、多くの人が密集しているような状態で末端に感染率が増すことが明らかとされており、注意が促されています。

◆潜伏期間は、1～12.5日多くは5～6日とされますが、潜伏期間がかなり長いケースがあること、潜伏期間中にも他人に感染させる可能性があることが特徴で、厄介な点かもしれません。

◆症状の持続期間は、高熱や倦怠感等で急に発症し数日で引くインフルエンザとは異なり、1週間以上もだらだらと続くことが多く、この点は鑑別に有用と考えられます。

2ページに続く

1ページから続く

◆健康者に比べて、高齢者や基礎疾患を有する等、免疫力の低下した人では重症化しやすく、短期間で呼吸不全から死に至らしめてしまうことは大きな問題で、重症者の早期発見、早期治療が焦点の一つになります。

◆死亡率に関しては、現段階でインフルエンザの約10倍と報告されていますが、未知のウイルスであり、人類に免疫がないことと大きく関係しています。

健康の三要素

水際で厳しい感染症対策が行われず、他国から来た方々が、日本にウイルスを巻き散らしていく様子を見て、多くの方が、自分の身体は自分で守るしかないと考えられたことと思います。

健康であるために留意すべき三要素は、栄養、運動、休養で、バランスの良い食事をとり、適度な運動を行い、睡眠不足に陥らないようにすることです。こ

れまで、知識として知っていましたが、今回初めて真剣に考えるようになりました。もちろん、手洗い、マスク着用、消毒、不要不急の外出を控える等の感染症対策を行った上でのことです。健康の三要素を強く意識して、新型コロナウイルスに感染してなるものかといった気持ちで生活してはいかがでしょう。

感染症と光線療法

これまでも、光線療法は多くの感染症の予防や治療に用いられて、その有効性が確認されてきました。その確かな効果を知っているご愛用者様から、最近、新型コロナウイルス感染症に対しても有効かとの質問が多くあります。もちろん、光線療法で新型コロナウイルスに対する抗体が産生される訳ではないので、光線療法は特効薬と言ったものではありません。ただ、光線療法は、ビタミンDや温熱を介して免疫力を高め、誰もがもつ自然治癒力を増強する作用を有する

ため、新型コロナウイルス感染症対策として有力な武器の一つになると考えています。

また、紫外線には殺菌作用があります。14世紀にペスト菌が世界的に大流行し、全世界でおよそ8500万人の命が奪われた時、未だ細菌も紫外線も知らない当時の人々は、経験的に得た知恵から日光消毒を行っていた歴史的事実もあるので

す。
今、ほとんどの人は、なるべく外出を控え自宅で過ごす時間が長くなっているのではないのでしょうか。ただでさえ、太陽にあたる習慣からかけ離れた生活を送るようになった現代人の日光浴不足に拍車がかかってしまつことも非常に危惧しています。
新型コロナウイルス感染症対策としてはもちろんのこと、日光浴不足を補うためにもご自宅で光線療法を行い、健康の三要素と合わせ、感染症に負けない身体作りを心がけるようお願いします。

私たちができること

人類はこれまで、ウイルス、細菌、寄生虫等、多くの感染症と戦ってきました。そして、その都度、多くの人命が奪われましたが、新型コロナウイルスとの戦いは始まったばかりです。治療薬やワクチンはなく、生還した人を除き、人類は抗体を持っていないため、一部の専門家は、

人類の60%から70%までに感染が拡大し、集団免疫が確立されるまで収束はしないだろうと述べています。私もインフルエンザのように、暖かくなったら流行が収まるのではないかといた希望的観測は、幻想に過ぎないと思います。

今、危機感をもつことは大切ですが、WHOがパンデミックを表明しようとも、決してパニックになることはありません。一人一人が今できることは何かを考えて冷静に対処すれば必ず道は開けます。

世界中の研究者が、必死に新型コロナウイルスと戦っており、

早期診断法の確立、治療薬、ワクチンの研究、開発を行っております。しかし、どうしても時間が必要で

す。その間、私たちができること、すべきことは、各人が自身の健康に留意して、新型コロナウイルスに感染しないよう予防すること、感染した場合は、自身の免疫力で重症化を防ぐようにすること、他人に感染させないよう努めることです。

「人事を尽くして天命を待つ」古来から伝わるこの諺を今一度思い出し、この未知のウイルスとの戦いに人類が勝利せんことを心から祈るばかりです。

感染症の予防と治療に

おける光線療法

- 照射部位
背部、前頸部、口腔、足裏
- 照射時間
各部位15分前後で
1日60分以上
- 推奨するカーボン組み合わせ
AとB、BとC、AとC

先に関西支部の皆様にはお伝え致しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府の自粛要請に基づき、3月13日に予定しておりました関西



vol.75 宇都宮 正範

支部講演会は中止とさせていただきます。
現時点で今後の講演会、養成講座は、感染症対策を施した上で予定通り行う方針でございますが、感染症の拡大状況、政府の方針等により、中止と判断せざるを得ない場合もございます。お手数をおかけ致しますが、ご出席を希望されている皆様には、開催の是非をご確認の上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

なお、当面の間、感染症対策と致しまして、弊社主催の会にご参加くださいます皆様には、あらかじめ体温測定を行い、平熱であることをご確認の上お越し頂き、会の最中は常時マスクの着用をお願い致します。ご不便をおかけ致しますが、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

今後の講演会予定

◆中国支部講演会

日時：5月22日(金) 午後3時から
会場：RCC文化センター 会議室700
住所：広島市中区橋本町5-11
電話：082-222-2277
交通：JR広島駅南口から徒歩10分

◆東海支部講演会

日時：6月26日(金) 午後3時から
会場：愛知県産業労働センター
ウインクあいち会議室1208
住所：名古屋市市中村区名駅4-4-38
電話：052-571-6131
交通：JR名古屋駅桜通口から徒歩5分

*ご参加を希望される方は、弊社までご連絡の程お願い申し上げます。

開講日程

6月12日(金)、13日(土)の2日間
*初日は午前9時に集合

講座内容

- (1)サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (2)光線治療器のメンテナンス法
- (3)ルーフ式全身多灯照射療法の実践
- (4)医学総論
- (5)関係法規・開院のための準備

資格取得者の特典

- (1)サナモア販売における代理店資格の取得
 - (2)サナモアの名称使用
 - (3)治療院を開業する際の指導
 - (4)「健康と光線」への治験例投稿
- 申し込みの締め切り：6月5日(金)

第五十二回

「光と熱研究会」

関東支部講演会のお知らせ

医療に関連した話題や治験例の報告を中心とした研究会です。一般のご愛用者の方も是非ご参加ください。なお参加は無料です。

「光線療法のもつ力」

日時：四月二十五日(土)

午後二時から

場所：目黒区民センター

中小企業センター

五階会議室

第二十五期

サナモア光線治療師養成講座のお知らせ

サナモア光線治療師養成講座は、六月に東京で開講する予定であります。光線治療院の開業をご検討されている方や光線療法について勉強したいとお考えの方は、(株)東京光線メディカル(03-5759-6333)までお問い合わせください。

サナモアご愛用者様へ

弊社からのお願い

ご愛用者様におかれましては、

感染症対策の一つとして、サナモアを日々ご使用頂いていることと思います。市場では一部の衛生関連商品の品薄状態が続いておりますが、弊社のサナモアカーボンは、十分な在庫があり、供給体制に全く心配のないことをお知らせ致します。

ただ、今後の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う商品流通体制の崩壊等、想定外の事態が生じた場合には、お客様のお手元に速やかにサナモアカーボンをお届けすることができない可能性もございます。

このような時に、誠に勝手ではございますが、どうぞ、お手持ちのサナモアカーボンに若干の余裕がある時点で、早めにご注文を頂けたらと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。

ます。

なお、ご不明な点がございましたら、(株)東京光線メディカル(03-5759-6333)までお問い合わせの程お願い申し上げます。

弊社の運営体制

(3月30日時点)

弊社では、従業員の感染症対策のため、時差出勤、在宅勤務を導入することに致しました。ご愛用者様にご不便をおかけする可能性もあり心苦しいのですが、何卒ご容赦の程お願い申し上げます。

なお、今後の感染症の推移により、営業時間の短縮等、運営体制が変更する場合もございますことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

営業時間

本社

午前9時30分～午後5時30分

サナモア治療院ソレイユ(目黒)

午前10時～午後4時



サナモア体験記募集

光線療法普及協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@sanamore.co.jp

SanaMore

光線療法普及協会

趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

- 一、季刊紙、「健康と光線」の発行
 - 二、サナモア光線治療師の養成
- の事業を行います。

光線療法普及協会

医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-23-11

光線療法普及協会TEL(03) 五七五九-六三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)